

学生実習			
1~2年	確認 <input type="checkbox"/>	目標 <input type="checkbox"/>	学生実習における目的・具体的内容の把握 通常日当直が出来る範囲・内容での基本的調剤技能及び知識が身につけている
3~5年	確認 <input type="checkbox"/>	目標 <input type="checkbox"/>	学生実習における目的・具体的内容の把握 実習カリキュラムに沿った内容を理解し説明できる
6~10年	確認 <input type="checkbox"/>	目標 <input type="checkbox"/>	未来における薬剤師教育と人材育成 実習内容に対し意見を述べ、症例発表の資料に助言する
10年~	確認 <input type="checkbox"/>	目標 <input type="checkbox"/>	未来における薬剤師教育と人材育成 認定実務実習指導薬剤師取得または同レベルで学生実習を11週間マネジメントできる

薬品管理係			
3~5年	確認 <input type="checkbox"/>	目標 <input type="checkbox"/>	院内における医薬品使用のための手続き、マスタ作成・変更に対する知識・技能の習得 <input type="checkbox"/> 医薬品の新規採用申請における書類作成方法・手続きを理解し対応ができる <input type="checkbox"/> 医薬品の医事課との連携のための書類作成方法・手続きを理解し対応ができる <input type="checkbox"/> 電子カルテシステム（NEC）におけるマスタ作成・変更について理解し対応ができる <input type="checkbox"/> 薬剤部門システム（YUYAMA）におけるマスタ作成・変更について理解し対応ができる <input type="checkbox"/> 各種システムの連携について理解しマスタテスト・実運用を行うことができる <input type="checkbox"/> 医薬品の取引実務に関する勉強会（初級）参加（全国自治体病院協議会）
5~10年	確認 <input type="checkbox"/>	目標 <input type="checkbox"/>	医薬品の流通における購入のための手続き、マスタ作成・変更に対する知識・技能の習得 医薬品の購入における在庫管理、流通における交渉を行うことができる <input type="checkbox"/> 各問屋への医薬品供給について確認、購入のための依頼を行うことができる <input type="checkbox"/> 在庫管理システム（ENIF）におけるマスタ作成・変更について理解し対応ができる <input type="checkbox"/> 物流システム（M3）におけるマスタ作成・変更について理解し対応ができる <input type="checkbox"/> 各種システムの連携について理解しマスタテスト・実運用を行うことができる（3~5年内容を含む） <input type="checkbox"/> 医薬品の供給状況・使用状況を把握し適正な在庫管理を行うことができる <input type="checkbox"/> 医薬品の購入状況を把握し価格交渉を行うことができる <input type="checkbox"/> 医薬品の取引実務に関する勉強会（中級）参加（全国自治体病院協議会）

10年～	確認	目標	医薬品の流通における問題点を把握し、院内・院外における交渉、問題解決ができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種システムを把握し、後任の教育を行うことができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	中小自治体病院の経営を学ぶセミナーへの参加（全国自治体病院協議会）

化学療法係			
1～2年	確認	目標	どのような流れで化学療法がおこなわれているかわかる状態（外来・入院）
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	化学療法に関する連絡を受けたときに、どのように対応するかわかる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	内服抗がん薬について、主な品目について対応できる(スケジュール管理、腎機能などに応じた用量調整など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	院内の抗がん剤暴露対策マニュアル、血管外漏出対応フローチャートについて知っている。
3～5年	確認	目標	担当病棟のよく使用する化学療法レジメンについて、スケジュール、副作用・支持療法について知っている
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	治療目標の理解(治癒、延命、緩和など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	併存・既往疾患等の把握(治療に影響するもの、高血圧や糖尿病など、B型肝炎既往歴など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当レジメンの投与スケジュールの把握ができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当レジメンの投与量のチェックができる(腎機能など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当レジメンの治療開始基準を確認できる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当レジメンの主な副作用と主な支持療法を知っている
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新規レジメン申請の流れを知っている
6～10年	確認	目標	院内で使用する主なレジメンについて知っている。院内のがん化学療法に関するプロトコールについて知っている。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種ガイドラインを知っており、必要時に調べることができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	院内のがん化学療法に関するプロトコールについて知っている。
10年以上	確認	目標	多職種連携、地域連携
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	がん化学療法の問題点を把握し、問題解決策を提案できる。 また、必要に応じて、他の薬剤師や他の職種につなげることができる。地域連携にも参画できる。

病棟業務係			
3～5年	確認	目標	お薬の使用目的を的確に伝え、薬に対する理解を向上させることができる。薬物療法の評価に必要な情報源を効果的に収集し評価することができる。
			外科系・内科系の複数病棟での経験をもとに、担当病棟における多職種からの相談応需や、薬剤情報提供において適切なコミュニケーションを図ることができる。
			各種算定の目的を理解した上で、効果的な介入について考えることができる。

	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1～2年目研修の復習を通じ、改めて学習したい項目について一次評価者に相談できる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各フロアにおいて薬剤管理指導料、麻薬管理指導料、退院時薬剤情報管理指導料の算定基準を理解し、算定している
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	薬剤総合評価調整加算、退院時薬剤情報連携加算の算定基準を理解し、算定した経験がある
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フロア内での薬剤師同士のカンファレンスで担当患者の治療経過をプレゼンすることができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自身の薬剤管理指導件数や病棟業務時間の統計を抽出することができる
5～10年	確認	目標	<p>薬学的介入を通じ、患者のアドヒアランスを向上させることができる。薬物療法の問題点を評価し、問題解決策を提案・実践し、薬物療法の個別最適化ができる。</p> <p>プロトコルに基づく処方代行入力を担うことができる。</p> <p>院内スタッフ・患者等と良好なコミュニケーションを図り、名指しで指名され相談を受けるなどの関係を築いている。院外の薬剤師等で連絡・相談ができる方が複数名いる。</p> <p>処方内容の見直しや連携充実に関連した加算について理解し、実施することができる。自身の算定状況を確認し検討している</p>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3～5年目研修を終えた職員の学習状況を把握し、改めて復習が必要な項目について確認し、スケジュール調整ができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	これまでにこなった自身の研修の状況から、改めて学習したい項目について一次評価者に依頼し、スケジュール調整を図ることができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PBPMの入力手順を把握している
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	薬剤総合評価調整加算、退院時薬剤情報連携加算の算定基準を理解し、算定例について後輩に説明・助言することができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フロア内での薬剤師同士のカンファレンスで他者が介入している患者について介入内容の提案を行うことができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フロアの薬剤管理指導件数や病棟日誌の統計を出し検討している
11年～	確認	目標	<p>薬学的介入を通じ、患者のアドヒアランスを向上させることができる。薬物療法の問題解決に関する提案・実践について後輩に指導できる。プロトコルに基づく処方代行入力の鑑査を担うことができる。</p> <p>院内スタッフや患者だけでなく、地域や他院の薬剤師と良好なコミュニケーションを図ることができる。院内スタッフや地域の薬剤師から名指しで指名され相談を受けるなどの関係を築くことができる。</p> <p>フロアリーダーとしてチームの薬剤管理指導業務等の算定率を把握し、業務のバランスを図ることができる。</p>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	後輩の学習状況を把握し、改めて復習が必要な項目について確認し、スケジュール調整ができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	これまでにこなった自身の研修の状況から、改めて学習したい項目について一次評価者に依頼し、スケジュール調整を図ることができる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	PBPMの鑑査を実施している
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フロア内での薬剤師同士のカンファレンスをオーガナイズし、係員が介入すべき症例について助言できる
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	フロアリーダーとしてフロアの勤務状況の調整を行うとともに、薬剤管理指導件数や病棟日誌の統計を出し検討している